



○：「水戸藩伝来のサトイモ『水戸黒柄』を探しています。情報が欲しい」と力を込めるのは、水府病院看護部長の中西京子さん。看護師として活躍する傍ら、ライフワークとしてサトイモ研究に尽力。スライスしたサトイモのさらし水を煮詰めた「脳響水」で地域起こしに取り組む。

「茨城に水戸黒柄という在来品種がある」「幻のサトイモがある」などの話を聞きたび飛びつくが、詳細はなかなか分からない。「探し出して水戸ブランドとして

「水戸黒柄」情報集めに奔走

アピールしたい」と中西さん。情報集めに奔走する。

(有)

アピールしたい」と中西さん。情報集めに奔走する。

(綿)

○：「景気に対するマインドやムードは良くなり、明るくなっていく。水戸の観光客増加へ向け今年は良い年にしていきたい」と話したのは、水戸観光協会（水戸市）の中山義雄会長。2月20日開幕の梅まつりを前に、市のPR活動へ意気込みを示した。

持たない人間は、この世にはいません」と話すのは、シャンソン歌手で俳優の美輪明宏さん。結城市での講演会。どんなに幸せそうに見える人でも仕事、家庭、健康、容姿：何かしら悩みを抱えているものだと言った。

幅広い人脈。多くの人生の浮沈を見てきた。嫉妬やねたまばかりでは、人は離れ、自ら人生をつま

市は観光を通じた交流人口の増加を目指しており、観光客の取り込みに加え、中心市街地の活性化も図る。中心街には5〜6年後に市民会館が移転予定。「これを機に観光とビジネスを一体化したコーポレーション機能も強化してい

の転換が大切だと訴える。「職場でも家庭でも、ほほ笑み一つ見せられるかどうか。それで人生は変わっていくものです」

(拓)